

事業完了報告書（資金分配団体）

事業名:	〇〇〇〇 x x x x 事業
資金分配団体名:	特定非営利活動法人〇〇〇〇団体
実行団体の数:	〇〇団体
実施時期:	2020年 月～2021年 月

日付: 20xx年xx月xx日

I. 事業概要（総括）

事業において主たる支援対象となった者（受益者）	生活貧困家庭・在日外国人・外出に困難を抱える人	受益者の人数	526人	対象地域	(資金分配団体としての対象地域と実行団体の対象地域を記載してください) 資金分配団体: ●●県●●市、実行団体A: ●●県●●市、実行団体B: ●●県●●市
事業実施概要 (事業の総括およびその価値)	<p>(総括)</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受ける生活困難者への居場所づくりと食支援の3団体を採択し、事業を実施した。生活困難者として、ひとり親世帯と子どもを対象に居場所となる食事場所とフードバンクを実施予定としたが、コロナ禍長期化することにより、公的機関へアクセスがしにくい老人や在日外国人の支援ニーズがあることがわかり、事業期間中に支援対象とすることにした。各団体累計でXXX食の配布を行い、居場所についてはXXX名のアクセスを得ることが出来た。</p> <p>(価値)</p> <p>緊急支援として、食料や居場所を求める人に提供をできたことがまず第一の価値として上げることが出来る。また、ターゲット層へのリーチ、という意味でも価値があったと考える。相談窓口を設けたことにより、支援が届いてない層（老人や在日外国人等）からの相談が多くあった。本取り組みによりコロナ禍により、支援が届きにくい層にリーチできたことはもちろん、彼らのような埋没していたニーズを明らかにすることができた。また、そこに対する実行団体以外の団体との連携してに対応できたことにより、今後の支援基盤の拡充と体制の強化も出来たと思われる。</p>				

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>(うまくいかなかったケースとその要因、学び等も記載ください)</p> <p>本事業においては、コロナ禍において影響を受けるひとり親世帯や子どもに食事場所とフードパントリーの支援活動を対象としたが、本設定は検討時点では妥当であったと考える。一方で、活動の中でより支援対象を必要とする層が見つかったことから、コロナ禍が長期化することにより事業途中に支援対象を追加する形となった。</p> <p>当初の課題の設定（ニーズの存在）は妥当であったと考えるが、我々が把握していた以上の様々な層について、同様の課題が発生していたことを事前把握することが出来れば、一貫通貫したアプローチも可能であったと考える。実際に事業内では、外国人の支援に対し我々はノウハウを有していなかったことから、関連団体へのリサーチなどを事後的に行うこととなった。今後、同様の課題にアプローチする際は、今回把握できた層への事前リサーチや団体間連携を事前に絡み込むことで、よりスムーズな事業アプローチが検討できると考える。</p> <p>また、事業設計部分において、事業を実施する中で、より有効な広報の方法があったことが把握された。当初は行政窓口でのチラシ配布でのアプローチと、オンライン（SNSやチャットツールなど）を中心としていたが、地元の飲食店や教会など、受益者がリアルに立ち寄る実際の場所について説明員を配置する、もしくはそこの方に説明し、広報してもらう、というアプローチが実際は有効であった。今後の事業実施に活用していきたい。</p>
-------------------	--

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

1. 資金分配団体としてのアウトプット（※非資金的支援部分を中心にご記載ください）

①受益者	②課題	③対象地域	④今回の事業実施で達成される状態 (アウトプット)	⑤指標	⑥目標値・目標状態	⑦結果	⑧考察
中間支援者	事業実施上の困難	●●県●●市	感染リスク対策のためのチェックシートやマニュアルの整備	専門家の評価	施設がチェックシートやマニュアルに沿って整備されている状態	専門家から指導を受けて施設ごとにチェックシートとマニュアルを作成し、感染者を出すことなく事業が実施できた。	他の団体へもチェックシートやマニュアルを共有することが出来、実行団体以外の団体も安心安全に施設を再開や実施することが出来たことは大きい。
中間支援者	事業実施上の困難	●●県●●市 ●●県●●市	対象地域において類似事業との連携が進み、体制の強化が図られる	会議回数	3団体で月1回、意見交換を実施している	連携が進み、生活困難者情報などが共有される体制が構築された。	団体間での情報共有はなされるようになった。次のアクションとして、今回の連携をリードする立場を明確にすること、包括的な仕掛けを行うための協議態勢の構築を目指していく必要がある

2. 実行団体のアウトプット合計 ※別の様式で取りまとめている場合はそちらでの代替が可能です。シートを追加し、貼り付けください。

①受益者	②課題	③対象地域	④今回の事業実施で達成される状態 (アウトプット)	⑤指標	⑥目標値・目標状態	⑦結果	⑧考察
生活困難者	相談先の不足	●●県●●市	生活困難者の相談窓口を設け、相談体制が構築される	相談件数	3団体で10～15件/週の相談対応を実施している	週X件、累計XX件の相談に対応した。うちX件は他支援団体へ連携し包括的に対応した	相談窓口での相談者数は少なかったが、口コミなどで訪問した訪問者は多く、その際の個別対応を実施した。簡単な案内パンフレットを作成し、支援内容などをまとめた
生活困難者	食料関連の不足	●●県●●市	多くの生活困難者へ食事とフードパントリーの情報を提供される	訪問者数	3団体で10～15人/日の訪問者があり、訪問後もフォローを実施している	子どもの学校閉鎖等の際や、週末・長期休暇などは想定以上の人数が訪問した。	合計XXX食の食事が提供された
生活困難者	居場所の不足	●●県●●市	多くの生活困難者へ居場所が提供される	訪問者数	1団体で計XX人の訪問者	計XX回、XX人の参加があった	
中間支援者	事業実施上の困難	●●県●●市	他の団体との連携促進のための勉強会の実施	勉強会の参加回数（1回/月）	同事業の団体同士の連携が促進される	オンラインでのN回の開催を行ない、計X団体、N名の参加がなされた	コロナ禍の影響で勉強会の開催が半数以下となり、オンラインでの開催となったが、意見交換や情報共有が出来、支援が必要な人たちに届けることが出来た

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親世帯と子どもを対象に居場所となる食事場所とフードバンクを実施ができている。 相談窓口が機能し、他の団体とのネットワークが構築できている。 支援基盤の拡充と体制の強化ができている。
考察等	<ul style="list-style-type: none"> 短期的には食事とフードバンクの実施ができたが、助成終了後の実施に向けた出口戦略へのフォロー（資金調達の体制構築）までは十分に達成できていない 相談窓口については一定の機能が果たせた。また、関連団体とまづ顔の見える関係を構築し、情報連携が個人単位で出来る状態となり、次のステップに向かうための土壌はできたと感じている 支援基盤、体制の強化は十分でない。広報部分や組織運営の部分（規定類の整備とそこに基づく事業運営）は充実した一方で、事業的側面はまだまだ道半ばである。特に、資金的部分と事業の組み立てを行う部分について、中核人材が各団体にはまだ不足している状況にある

V. 資金分配団体としての支援の取り組みに対する総括

資金分配団体の取り組み詳細（実行団体に対する非資金的支援）

取り組み	取り組み分類	到達度	概要および考察
------	--------	-----	---------

感染リスク対策のためのチェックシートやマニュアルの整備	事業運営支援	想定以上の成果があった	関係支援団体などへ共有が出来たことにより、地域全体で安心安全な支援の提供が出来た
対象地域において類似事業との連携	ネットワーク形成・CI促進支援	想定通りの成果	コロナの影響で勉強会の開催数が減ったが、意見交換や情報交換は進んだ。
SMSでの情報発信支援	事業運営支援	想定以上の成果があった	対象以外の生活困窮者や他団体からの問い合わせがあった。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	相談窓口を設立し、関係支援団体からの問い合わせや、老人や在日外国人からの相談も多く、意見交換や情報交換が出来たことで、多方面での関係構築や連携が出来た。 SMSなどのメディアでの発信も強化したことで、情報発信の強化が出来た。
---------------------	---

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	コロナ禍の想定以上の長引きにより、緊急支援を必要としている層の状況はまだ十分に改善しておらず、むしろ支援を必要とする人数は増加している印象にある。コロナの一時的な落ち着きにより、居場所問題は徐々に解消されつつあるが、時差的に遅れてくる就業問題についてはより悪化をしている状態であり、緊急支援の次のステップとして、大きなニーズを感じている。また、緊急支援の部分についても、コロナの落ち着きから、資金の流れが徐々に緊急支援から通常支援に移行しつつある現状にあり、フードバンクや子ども食堂などの金銭的支援は事業開始時よりより手薄になっていると感じ、ニーズとのギャップを感じている。 次のアクションとして、・今一回り一した層への就業支援を含めた包括的な支援の実施 ・支援スキームの連携構築 ・緊急支援団体に対する資金調達の部分での組織基盤強化の実施を目指す。
本事業を行なっている中で生じた 実行団体や受益者のもっとも重要な変化だと感じた点 (1,2団体の事例を具体的にかつ自由にご記載ください)	・実行団体XXXについて、XXXの活動を行なう中で、フードバンクに訪れた受益者と会話し彼らの実情を把握する中で、他の就業支援組織に連携をする機会があった。その受益者から、就業に関する連絡を受け取った際に、事業運営者が「食に関する支援者だと私たちは自分たちを位置づけていたが、支援を必要とひとりの情報を集める窓口としての役割を私たちは果たすべきなのかもしれない。XXやXXXの領域の支援先をもし知っていたら教えてくれないか」という発言をし、その後は実際に包括的な支援の集まりに参加するようになった。地域における困窮者支援の核の担い手として自覚をした、という部分が、本地域におけるもっとも重要な変化であったと感じている。

VIII. 他団体との連携

活動	実績内容	結果・成果・影響等
子どもの居場所	地域にある子ども食堂関係者との意見交換	他の子ども食堂の状況を聞く良い場となり、継続して実施予定
コロナで困窮している層へのフードバンク	他地域での先行事例を共有し、フードバンク実施に向けた検討会の実施	具体的な案はないが、他地域の事例を確認でき、参考になった

IX. インプット（精算金額と一致させる必要はありません）

		2020年度	2021年度	合計	実績額	執行率
事業費	直接事業費	¥4,500,000	¥1,500,000	¥6,000,000	¥3,500,000	58%
	管理的経費	¥2,500,000	¥1,000,000	¥3,500,000	¥1,500,000	43%
プログラムオフィサー関連経費		¥800,000	¥800,000	¥1,600,000	¥1,500,000	94%
合計		¥7,000,000	¥2,500,000	¥9,500,000	¥5,000,000	53%
補足説明		緊急事態制限下で事業実施が困難になり、直接事業費が資金計画よりも少なくなった				

X. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	・〇〇新聞夕刊（発行部数約1万部） ・テレビ〇〇 地域ニュース タワ5時～
広報制作物等	有	・支援内容案内パンフレット（日・英）
報告書等	有	・事業進捗レポート

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	一部未公開	一部整備したため、公開が遅れているが、〇月〇日に公開予定
4.変更があった規程類に関してJANPIAに報告しましたか。	変更があり報告済	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	

4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい(内容を右に記載)	関係者への勉強会を実施
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	
	<input type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない (右に理由を記載)	
7.事業完了した実行団体へ監査を行いましたか。	一部未実施(状況を右に記載)	日程調整中
8.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
9.内部通報制度は整備されていますか。	はい(JANPIAの通報制度利用)	JANPIAの通報制度を利用
【非公開】10. 上記設問8で「はい」の場合、利用はありましたか。	利用はなかった	
【非公開】11.報告対象となる不正行為をJANPIAに報告済ですか。	不正行為はなかった	
【非公開】12.代表者変更・役員変更・住所変更等があった場合に通知書の提出を行っていますか。	変更があり報告済み	

XII. その他

自由記述